



学校だより ウルムス

令和 元年 9月 30日

横浜市立釜利谷南小学校

10月号

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanariyamami/>

校長 田中 さくら

ONE TEAM



みなさん、もうご存じの通り、オリンピック、FIFAサッカーW杯と並び、世界三大スポーツイベントといわれる「ラグビーW杯(ワールドカップ)」が、9月20日、アジア初の日本で開幕しました！初戦のロシアには、松島幸太郎選手のハットトリックやすばらしいディフェンスもあり、30対10で日本の快勝でした！次の28日のVSアイルランド戦では、見事、福岡選手の逆転トライド、世界2位のチームに劇的な歴史的勝利でした！

日本代表選手達は、「ブレイクブロッサムズ」(勇敢なるサクラ)と呼ばれ、初のベスト8入りを目指しています。エイミー・ジョセフ監督の下で、毎日明け方4時半から一日16時間という厳しい練習を乗り越えてきた31名が「ONE TEAM」の文化として、チームは一つ、チーム一丸となって戦います。この勢いで勝ち進み、横浜国際総合競技場での準々決勝・決勝に横浜に来てほしいと思います。

さて、本校の学区には、元関東学院大学ラグビー部監督である稲垣啓太日本代表選手を育て、今でも名誉教授、釜南学校運営協議会の委員でもある「春口 廣」さんがお住まいです。そこで、ラグビーワールドカップ開幕に当たり、ラグビーというスポーツについて、いろいろなお話をお聞きしたく、先日9月18日に、お忙しい中、来校いただき、校長室でインタビューさせていただきました。

ラグビーは、体当たりする激しいスポーツだからこそ、絶対にルールを守りながら、正々堂々と勇気をもって戦うスポーツである。一人一人がもっている力をそれぞれのポジションで全部出しきること、自己犠牲でなく自分を生かすこと、でも一人でがんばるのではなくチームの仲間を信じる、チームで取り組む。また安全対策で規制ができ、以前よりスクラムの組み方等ルールが変わってきた。それに向けて、より技術を向上させるトレーニングが必要であること。そのルール以上に相手を思うこと、動きは激しいが乱暴ではない、相手にけがをさせないように厳しいルールがある。それを守ろうとする相手への思いがある。体は張るが、相手にも反則させないで相手に負けない強い自分になる。相手を打ち負かすのではなく、相手を認めてリスペクトすることが大事である。そして試合が終われば「ノーサイド」敵も味方もないからいいんだ・・・と、春口さんは、目を輝かせながら真剣に、ラグビーのルールやイギリス4カ国(イングランド・アイルランド・スコットランド・ウェールズ)の関係等の世界的な歴史についても熱く語ってくださいました。



そして、ワールドカップはテレビ放送もされるけれど、やはり競技場で、生で試合を観戦すると迫力が違う、ラグビーの激しさやすばらしさが伝わってくると教えてくださいました。今はラグビーアカデミーで、小学生には、タグラグビー等の指導をなさっています。本校でも、今後は体育の学習でタグラグビーに取り組み、ルールを守るラグビーというスポーツに少しでも触れてほしいと思います。

ラグビーの「One for all, All for one」(一人はみんなのために、みんなは一人のために)という言葉が有名ですが、このOneはチームと言える。チームはみんなのためにあり、みんなはチームのためにがんばるという気持ちで一丸となって進むと春口さんが話してくださいました。まさに「一丸！チーム釜南小」です。

ラグビーが大切にしている5つの精神「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」もあります。深い意味をもつスポーツです。これはラグビーだけでなく、他のスポーツでも、学校生活でも大切にしたい精神ですね。